

**【問い合わせ先】**  
(財) 茨城県中小企業振興公社 企業振興課  
高岡、齊藤 (☎ 2 2 4 - 5 3 1 7)

## 平成 2 3 年度受注企業実態調査結果 (速報)

### 【調査概要】

- 1 調査目的……………受注企業の生産・経営状況等の実態を把握して、今後の中小企業振興の一助とする。
  
- 2 調査対象……………公社に登録されている県内受注企業 1, 5 0 9 社
  
- 3 調査方法……………郵送によるアンケート方式
  
- 4 調査時点……………平成 2 3 年 1 0 月 1 日現在
  
- 5 回答状況……………回答企業 3 9 0 社 ( 2 5 . 8 % )

## 【調査結果の概要】

◆ 「収益性の動向」については、「悪くなった」と回答した企業の割合が前年比 4.6 ポイント減少しているものの、4 割を超えており最も多くなっている。続いて、「変わらない」と回答した企業の割合が約 4 割となっている。

・「今後の見通し」については、「見通し難」と回答した企業の割合が 4 割を超えており最も多いが、「良くなる」と回答した企業が前年比 3.1 ポイント増え約 1 割、そして「悪くなる」と回答した企業も前年比で 7.3 ポイント減少していることから持ち直しの動きが見られる。

・「資金調達」については、「1 年前と変わらない」と回答した企業の割合が約 8 割となっている。

・「経営上の主な問題点」については、約 8 割の企業が「受注量の確保」と回答し、以下「受注単価の低下」・「発注企業の海外生産」と、例年同様の割合となっている。

・「今後の経営方針」については 5 割を超える企業が、「取引先の拡大」・「技術の向上」・「品質の向上」と回答している。

◆ 「受注量の動向」については、約 3 割の企業が「増加した」と回答しているものの、約 4 割弱の企業で「減少した」と回答している。

・「受注量の今後の見通し」については、例年同様「見通し難」と回答した企業の割合が、約 4 割弱と最も多くなっている。また、前年比で「増加する」と回答した企業割合が増え、「減少する」と回答した企業が減っている。

◆ 「受注単価の動向」については、5 割以上の企業が「変わらない」と回答しているが、「減少した」と回答した企業割合も 4 割を超える回答となっている。

◆ 「海外との貿易」については、7 割以上の企業が「輸出」・「輸入」とも現在行っておらず、「今後も予定なし」と回答している。なお、「輸出」や「輸入」を行っている企業は前年比で若干増加している。

◆ 「円高の影響」については、約 5 割の企業が「影響あり」と回答し、「将来的に影響あり」と回答した企業も約 3 割となっている。

・「収益面への影響」については 9 割以上の企業が「減益」と回答し、そのうち約 3 割が「深刻な減益」と回答している。

・「具体的な影響」については、6 割以上の企業が「取引先からコストダウン要請」と回答しており、以下「大企業の生産拠点が海外移転」・「海外からの安価製品輸入」となっている。

・「実施・検討している円高対策」については、約 5 割の企業が「生産コストの削減」・「新規顧客の開拓」と回答している。

◆ 「海外（特に中国やアジア地域）から入ってくる部品（や支給材）の品質」については、5 割以上の企業が「かなり良くなってきたが、まだバラツキがあるように思う」、約 3 割の企業が「全体としてまだまだ劣ると思う」と回答している。

## 【調査結果】

(注) 調査項目によっては主要項目の記載や四捨五入の都合上、合計が100%にならないものがあります。

### 1 経営状況について

#### (1) 収益性の動向

区分	本年	昨年	増減
良くなった	16.4%	19.0%	▲2.6
悪くなった	43.2%	47.8%	▲4.6
変わらない	40.4%	33.2%	7.2

- ・収益性の動向については、「良くなった」とする企業の割合が昨年度比 2.6 ポイント減の 16.4%となった。
- ・「悪くなった」とする企業の割合は昨年度比 4.6 ポイント減の 43.2%となった。
- ・「変わらない」とする企業の割合は昨年度比 7.2 ポイント増の 40.4%となった。

#### (2) 今後の見通しについて

区分	本年	昨年	増減
良くなる	11.3%	8.2%	3.1
悪くなる	24.1%	31.4%	▲7.3
変わらない	19.1%	17.8%	1.3
見通し難	45.5%	42.6%	2.9

- ・今後の見通しについては、「良くなる」とする企業の割合が昨年度比 3.1 ポイント増の 11.3%となった。
- ・「見通し難」とする企業の割合が昨年度比 2.9 ポイント増の 45.5%となった。
- ・「悪くなる」とする企業の割合は、昨年度比 7.3 ポイント減の 24.1%となった。

#### (3) 資金調達について（1年前（前年10月）との比較）

区分	本年	昨年	増減
容易になった	7.9%	8.2%	▲0.3
変わらない	76.3%	70.8%	5.5
困難になった	15.8%	21.0%	▲5.2

- ・資金調達については、「変わらない」とする企業の割合が昨年度比 5.5 ポイント増の 76.3%となった。
- ・「困難になった」とする企業の割合は、昨年度比 5.2 ポイント減の 15.8%となった。

#### (4) 経営上の主な問題点について（複数回答）

区分	本年	昨年	増減
受注量の確保	78.7%	81.5%	▲2.8
受注単価の低下	49.2%	56.9%	▲7.7
発注企業の海外生産	30.5%	29.9%	0.6
人材不足	24.5%	24.2%	0.3
設備投資	24.2%	19.5%	4.7

- ・経営上の問題点については、「受注量の確保」とする企業の割合が 78.7%と最も多く、以下「受注単価の低下」、「発注企業の海外生産」と続く。

(5) 今後の経営方針（複数回答）

区 分	本 年	昨 年	増 減
取引先の拡大	60.6%	64.7%	▲4.1
技術の向上	50.1%	51.5%	▲1.4
品質の向上	50.1%	52.0%	▲1.9
原価低減（低コストへの対応）	40.7%	44.0%	▲3.3
堅実経営・経費の削減	37.3%	39.0%	▲1.7

・今後の経営方針については、「取引先の拡大」とする企業の割合が60.6%と最も多く、以下「技術の向上」、「品質の向上」と続く。

2 受注状況について

(1) 受注量の動向（1年前（前年10月）との比較）

区 分	本 年	昨 年	増 減
増加した	30.7%	40.2%	▲9.5
減少した	38.5%	39.4%	▲0.9
変わらない	30.7%	20.4%	10.3

・受注量の動向については、「増加した」とする企業の割合が昨年度比9.5ポイント減の30.7%となった。

・「減少した」とする企業の割合は、昨年度比0.9ポイント減の38.5%となり、「変わらない」とする企業の割合は、昨年度比10.3ポイント増の30.7%となった。

(2) 今後の見通しについて

区 分	本 年	昨 年	増 減
増加する	14.1%	11.9%	2.2
減少する	23.3%	31.7%	▲8.4
変わらない	26.5%	19.5%	7.0
見通し難	36.1%	36.9%	▲0.8

・今後の見通しについては、「減少する」とする企業の割合が昨年度比8.4ポイント減の23.3%となり、「増加する」とした企業の割合は昨年度比2.2ポイント増の14.1%となった。

・「変わらない」とする企業の割合は昨年度比7.0ポイント増の26.5%となった。

(3) 受注単価の動向について

区 分	本 年	昨 年	増 減
増加した	3.7%	3.7%	0.0
減少した	43.3%	53.8%	▲10.5
変わらない	53.0%	42.4%	10.6

・受注単価の動向については、「減少した」とする企業の割合が昨年度比10.5ポイント減の43.3%となった。

・「変わらない」とする企業の割合は昨年度比10.6ポイント増の53.0%となった。

### 3 海外との貿易について

#### (1) 輸出について

区 分	本 年	昨 年	増 減
輸出を行っている	10.7%	8.8%	1.9
輸出を行っていないが、今後考えてみたい	12.1%	12.7%	▲0.6
輸出を行っていないし、今後その予定はない	77.1%	78.5%	▲1.4

・輸出については、「輸出を行っていないし、今後その予定はない」とする企業の割合が77.1%と最も多かった。

#### (2) 輸入について

区 分	本 年	昨 年	増 減
輸入を行っている	12.6%	11.2%	1.4
輸入を行っていないが、今後考えてみたい	11.7%	11.4%	0.3
輸入を行っていないし、今後その予定はない	75.7%	77.4%	▲1.7

・輸入については、「輸入を行っていないし、今後その予定はない」とする企業の割合が75.7%と最も多かった。

### 4 円高の影響について

#### (1) 円高の影響

区 分	本 年	昨 年	増 減
影響あり	47.7%	41.6%	6.1
将来的に影響あり	30.6%	33.1%	▲2.5
影響なし	21.6%	25.3%	▲3.7

・円高の影響については、「影響あり」とする企業の割合が昨年度比6.1ポイント増の47.7%となった。

#### (2) 収益面への影響

区 分	本 年	昨 年	増 減
深刻な減益	27.3%	25.9%	1.4
多少の減益	66.4%	71.5%	▲5.1
多少の増益	5.5%	2.6%	2.9
大幅な増益	0.8%	0.0%	0.8

・収益面への影響については、「多少の減益」とする企業の割合は昨年度比5.1ポイント減の66.4%となった。

・一方、「多少の増益」とする企業の割合が昨年度比2.9ポイント増の5.5%となった。

## (3) 具体的な影響（複数回数）

区 分	本 年	昨 年	増 減
取引先からコストダウン要請	60.1%	67.4%	▲7.3
大企業の生産拠点が海外移転	55.2%	76.2%	▲21.0
海外からの安価製品輸入	30.1%	31.6%	▲1.5
購買部品を安く調達できる	9.2%	8.8%	0.4
材料が安く手に入る	8.6%	14.5%	▲5.9

・具体的な影響については、「大企業の生産拠点が海外移転」し受注量が減少とする企業の割合が昨年度比 21.0 ポイント減の 55.2 %となっている。

・「取引先からコストダウン要請」とする企業の割合は昨年度比 7.3 ポイント減の 60.1 %となっており、最も多くなっている。

## (4) 実施・検討している円高対策（複数回答）

区 分	本 年	昨 年	増 減
生産コストの削減	47.8%	48.9%	▲1.1
新規顧客の開拓	47.8%	56.7%	▲8.9
特に考えていない	23.5%	20.6%	2.9
新技術・新製品の開発	18.6%	—	18.6
為替変動の影響を受けにくい製品等にシフト	7.3%	12.8%	▲5.5

・実施・検討している円高対策については、「生産コストの削減」・「新規顧客の開拓」とする企業の割合が 47.8 %と最も多く、以下「特に考えていない」と続く。

## 5 海外（特に中国やアジア地域）から入ってくる部品（や支給材）の品質について

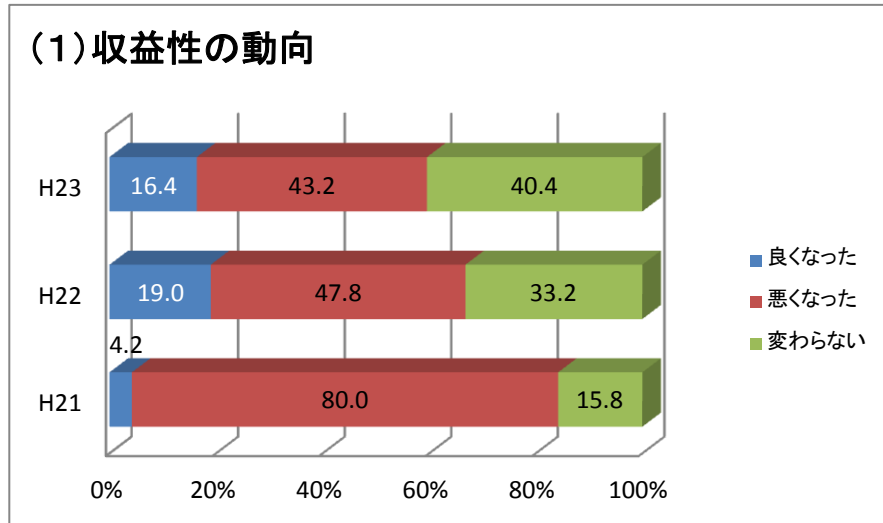
## (1) 国内のものと比較

区 分	本 年	昨 年	増 減
全体としてまだまだ劣ると思う	26.4%	21.9%	4.5%
かなり良くなってきたが、まだバラツキがあるように思う	52.5%	55.0%	▲2.5%
十分に對抗できるレベルに達してきていると思う	19.8%	21.1%	▲1.3%
すでに超え始めていると思う	1.2%	2.0%	▲0.8%

・海外から入ってくる部品（や支給材）の品質については、国内のものと比較して「かなり良くなってきたが、まだバラツキがあるように思う」とする企業の割合が 52.5 %と最も多く、以下「全体としてまだまだ劣ると思う」、「十分に對抗できるレベルに達してきていると思う」と続く。

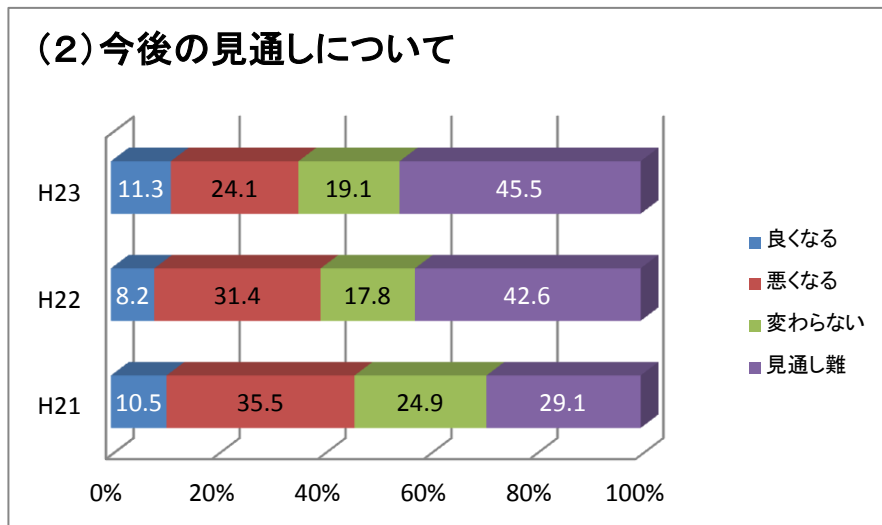
# 1. 経営状況について

## (1) 収益性の動向



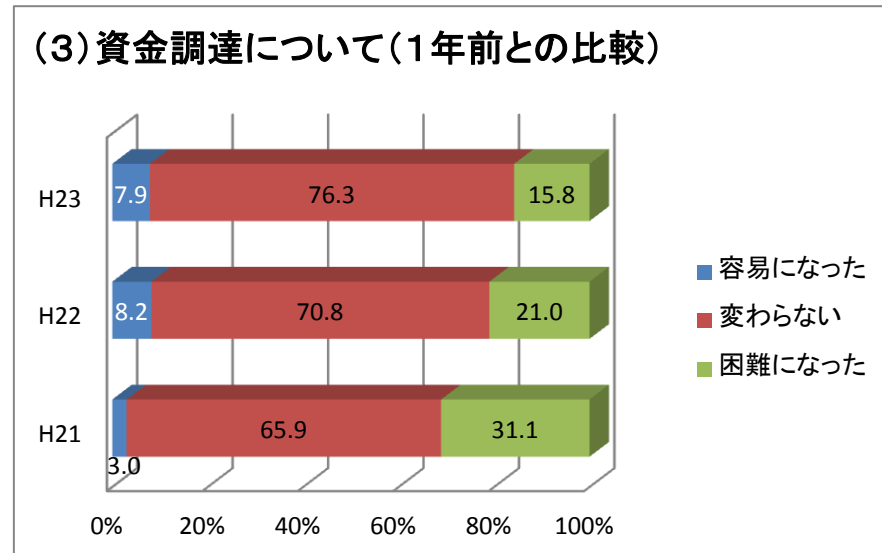
	H21	H22	H23
良くなった	4.2	19.0	16.4
悪くなった	80.0	47.8	43.2
変わらない	15.8	33.2	40.4

## (2) 今後の見通しについて



	H21	H22	H23
良くなる	10.5	8.2	11.3
悪くなる	35.5	31.4	24.1
変わらない	24.9	17.8	19.1
見通し難	29.1	42.6	45.5

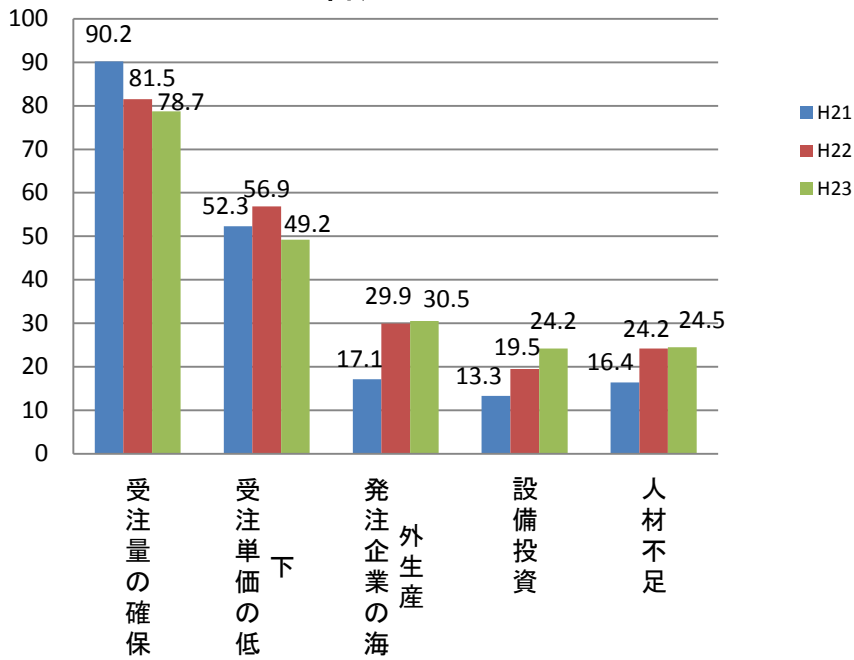
## (3) 資金調達について(1年前との比較)



	H21	H22	H23
容易になった	3.0	8.2	7.9
変わらない	65.9	70.8	76.3
困難になった	31.1	21.0	15.8

(4) 経営上の主な問題点について(複数回答)

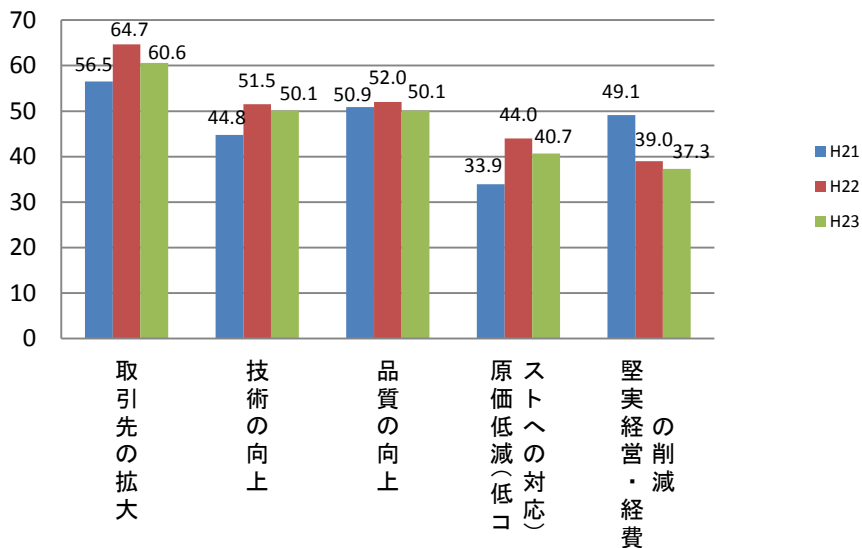
(4) 経営上の主な問題点について(複数回答)



	H21	H22	H23
受注量の確保	90.2	81.5	78.7
受注単価の低下	52.3	56.9	49.2
発注企業の海外生産	17.1	29.9	30.5
設備投資	13.3	19.5	24.2
人材不足	16.4	24.2	24.5

(5) 今後の経営方針(複数回答)

(5) 今後の経営方針(複数回答)

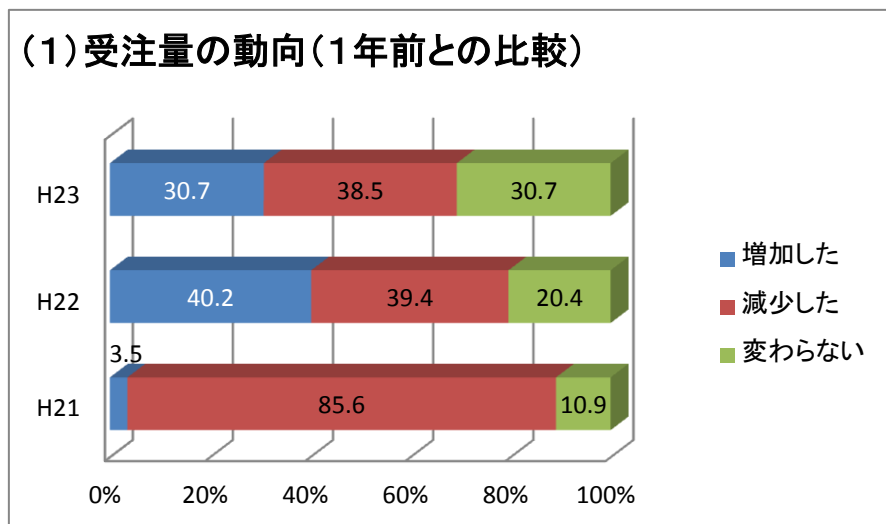


	H21	H22	H23
取引先の拡大	56.5	64.7	60.6
技術の向上	44.8	51.5	50.1
品質の向上	50.9	52.0	50.1
原価低減(低コストへの対応)	33.9	44.0	40.7
堅実経営・経費の削減	49.1	39.0	37.3



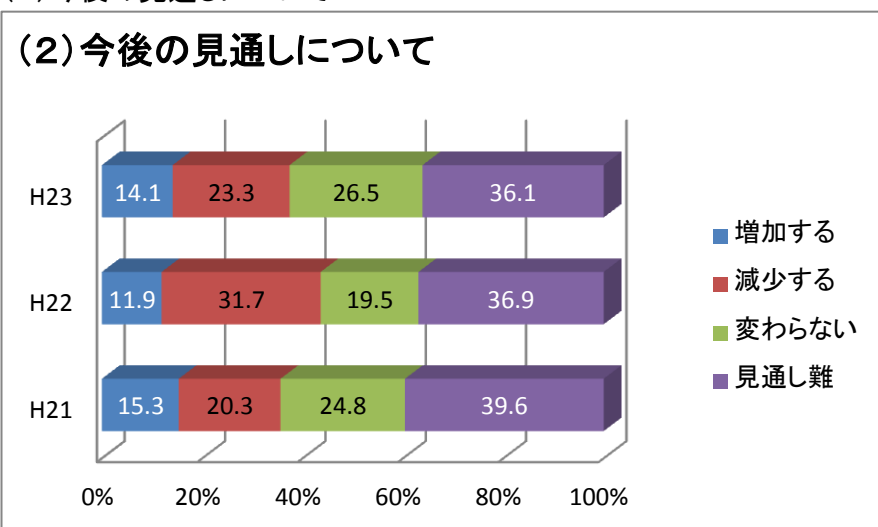
## 2. 受注状況について

### (1) 受注量の動向(1年前との比較)



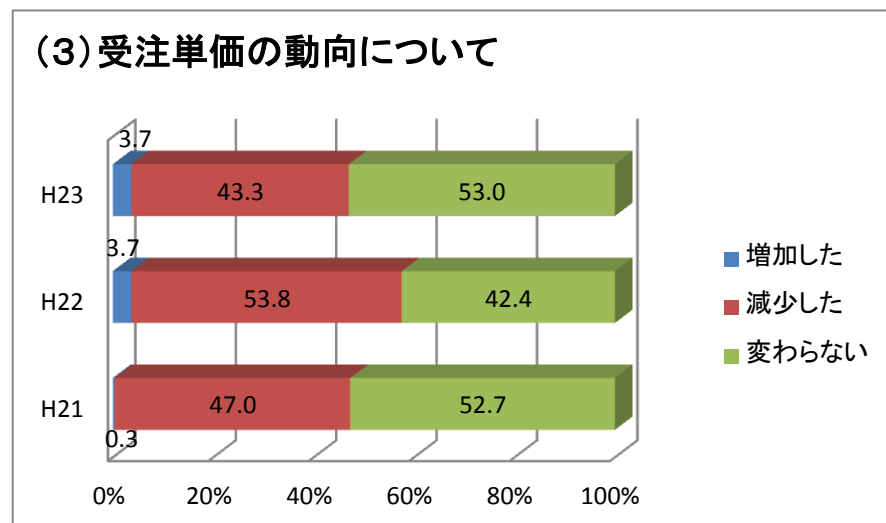
	H21	H22	H23
増加した	3.5	40.2	30.7
減少した	85.6	39.4	38.5
変わらない	10.9	20.4	30.7

### (2) 今後の見通しについて



	H21	H22	H23
増加する	15.3	11.9	14.1
減少する	20.3	31.7	23.3
変わらない	24.8	19.5	26.5
見通し難	39.6	36.9	36.1

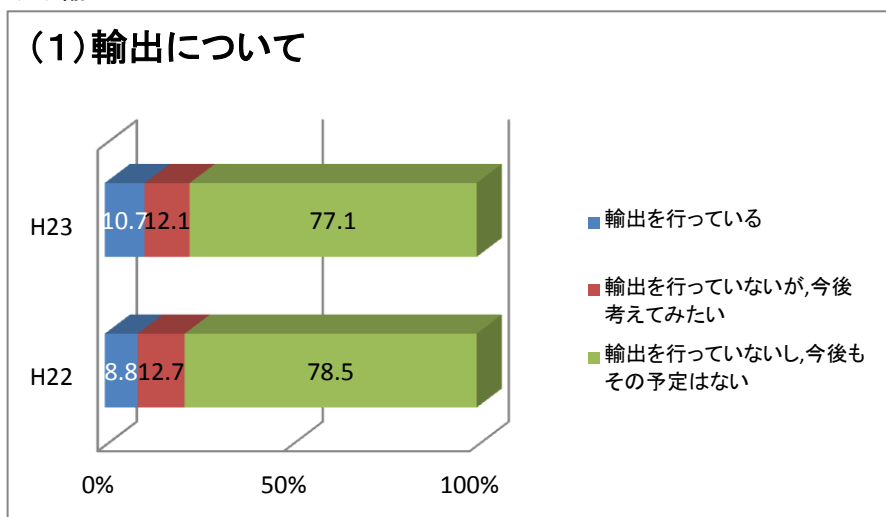
### (3) 受注単価の動向について



	H21	H22	H23
増加した	0.3	3.7	3.7
減少した	47.0	53.8	43.3
変わらない	52.7	42.4	53.0

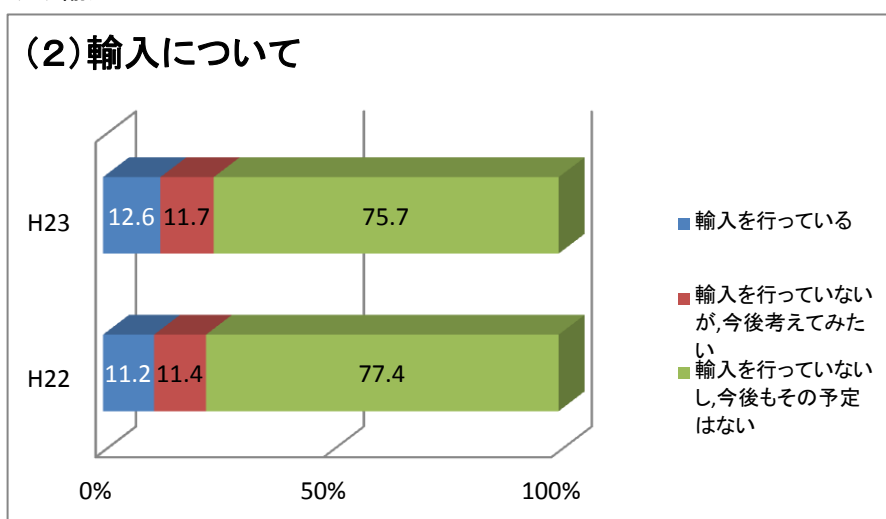
### 3. 海外との貿易について

#### (1) 輸出について



	H22	H23
輸出を行っている	8.8	10.7
輸出を行っていないが、今後考えてみたい	12.7	12.1
輸出を行っていないし、今後もその予定はない	78.5	77.1

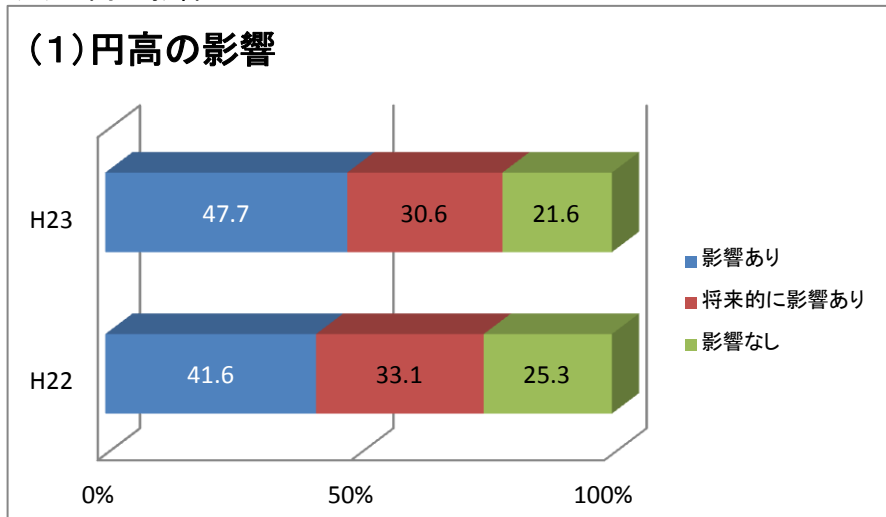
#### (2) 輸入について



	H22	H23
輸入を行っている	11.2	12.6
輸入を行っていないが、今後考えてみたい	11.4	11.7
輸入を行っていないし、今後もその予定はない	77.4	75.7

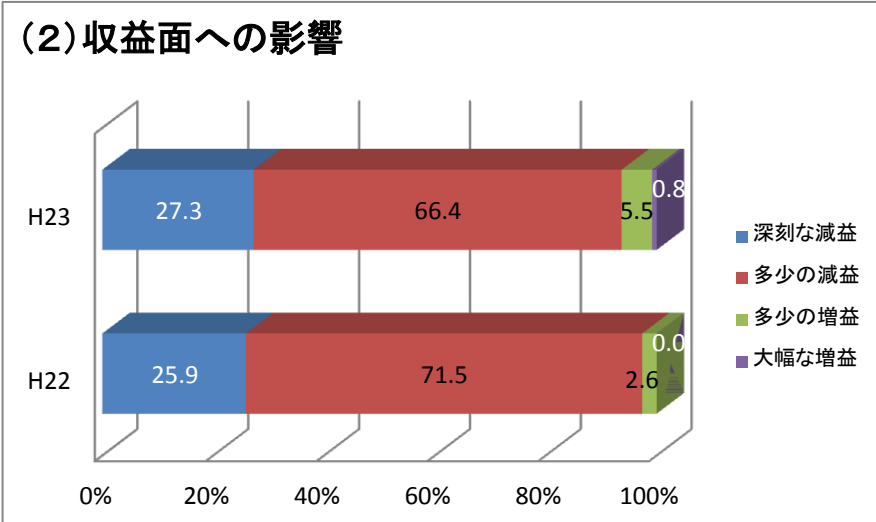
### 4. 円高の影響について

#### (1) 円高の影響



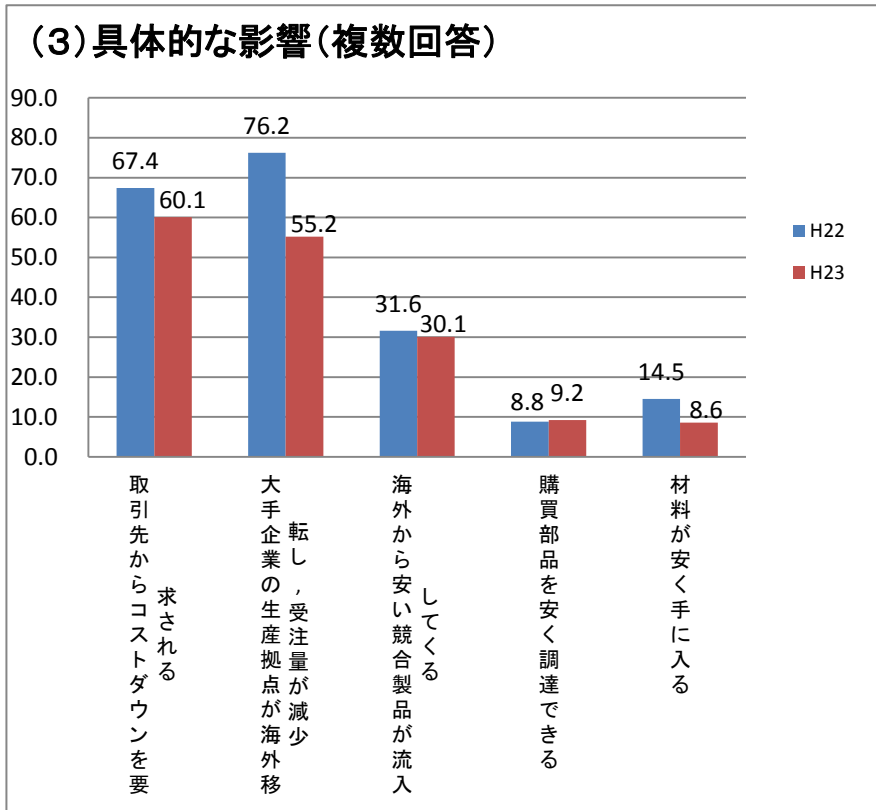
	H22	H23
影響あり	41.6	47.7
将来的に影響あり	33.1	30.6
影響なし	25.3	21.6

(2) 収益面への影響



	H22	H23
深刻な減益	25.9	27.3
多少の減益	71.5	66.4
多少の増益	2.6	5.5
大幅な増益	0.0	0.8

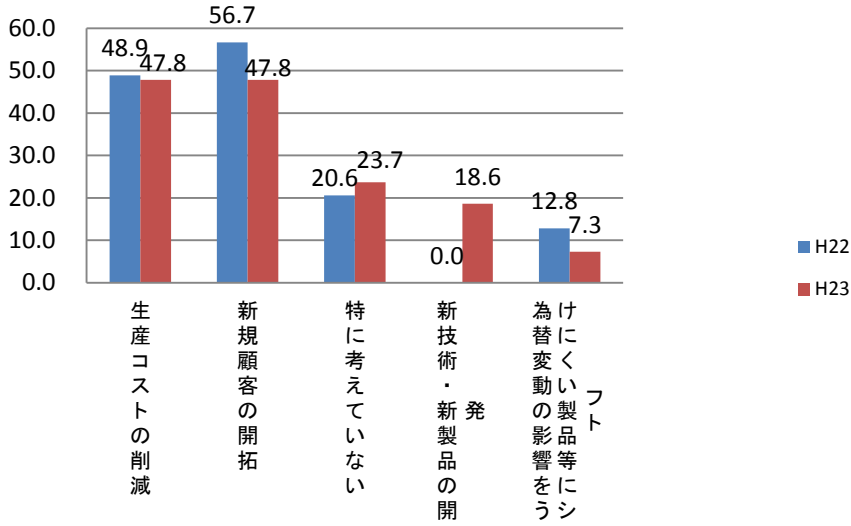
(3) 具体的な影響 (複数回答)



	H22	H23
取引先からコストダウンを要求される	67.4	60.1
大手企業の生産拠点が海外に移転し、受注量が減少	76.2	55.2
海外から安い競合製品が流入してくる	31.6	30.1
購買部品を安く調達できる	8.8	9.2
材料が安く手に入る	14.5	8.6

(4)実施・検討している円高対策  
(複数回答)

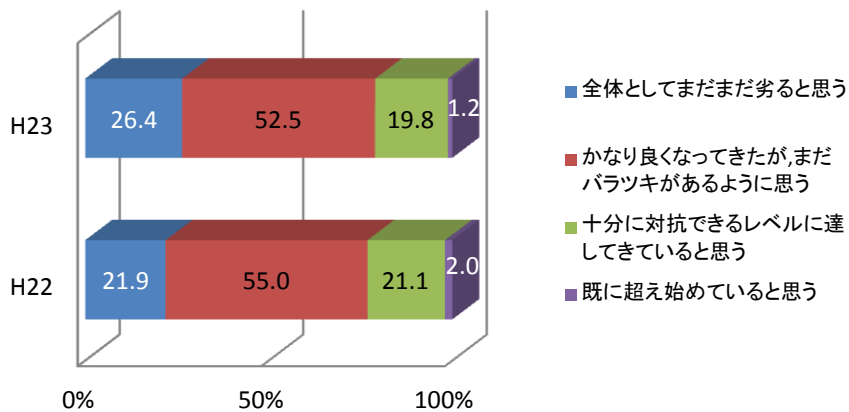
(4)実施・検討している円高対策 (複数回答)



	H22	H23
生産コストの削減	48.9	47.8
新規顧客の開拓	56.7	47.8
特に考えていない	20.6	23.7
新技術・新製品の開発	0.0	18.6
為替変動の影響をうけにくい製品等にシフト	12.8	7.3

5. 海外(特に中国やアジア地域)から入ってくる部品(や支給材)の品質について  
(1)国内のものと比較

(1)国内のものと比較



	H22	H23
全体としてまだまだ劣ると思う	21.9	26.4
かなり良くなってきたが、まだバラツキがあるように思う	55.0	52.5
十分に対抗できるレベルに達してきていると思う	21.1	19.8
既に超え始めていると思う	2.0	1.2